

#垂水区社協★情報発信!!

～つなぐ・つながる・地域のカタチ～

#垂水区社協★情報発信!!

～つなぐ・つながる・地域のカタチ～

社会福祉法人
神戸市垂水区社会福祉協議会



発行 2020年3月
社会福祉法人
神戸市垂水区社会福祉協議会
〒655-8570 神戸市垂水区日向1-5-1
電話：078-708-5151(代表)
F A X：078-709-1332
E-mail：info@tarumi-csw.or.jp

垂水区社協で
検索してね!



デザイン 社会福祉法人すいせい
就労移行支援事業所CASTビジネスアカデミー
就労移行支援事業所Free-biz
表紙イラスト：中島 崇



愛の輪・心かよわず市民運動



はじめに

垂水区社会福祉協議会(垂水区社協)では、区内の素晴らしい地域活動をたくさんの方々に知っていただきたいと、SNS(ソーシャルネットワークサービス)での情報発信に力を入れています。地域社会の中で求められていることを、楽しみながら、工夫しながら、続けておられる皆さんは垂水区の宝物です。

今回、2019年4月から2020年3月に発信した内容をまとめました。この冊子をきっかけにこれから地域で活動したいという方々とつながることができれば幸いです。

今後も、様々な“地域のカタチ”を探して発信していきますので、垂水区社協のSNSをチェックしてください。

※掲載記事はSNSで発信した当時の内容です。

もくじ

1.子どもたちの居場所	01
垂水区子どもの居場所学習ルーム「オリーブ」 / 神陵台児童館で「楽食の会」を開催	
2.ニューオープンのつどいの場	02
ボランティアグループ「ホープの会」 / さわやか元気クラブ桃山台が立ち上がりました!	
「上高丸すこやか健康クラブ」がオープン / 特別養護老人ホームに「こすもす給食会」がオープン	
3.介護予防、健康づくりの取り組み	04
健康コミュニティぬくもり倶楽部 / 頭と体のための体操サークル「平磯仲よし倶楽部」	
4.自治会の工夫ある取り組み	05
清水が丘東自治会で不用品回収活動 / 北舞子第4住宅で朝市&チャリティーバザーが開催されました	
5.実習生レポート	06
ベルデ名谷 子どもの居場所 / 多聞東地域ボランティア講座を開催しました!	
塩屋子ども食堂「さくらのいえ」 / 街づくり団体きゃんぱーす主催「みんなで支えあう街づくり」	
6.民生委員児童委員の取り組み	08
地区民児協作成の情報紙をひとり暮らし高齢者等に配布 / 舞子で友愛訪問研修が開かれました	
7.地域で取り組む防災訓練、防災教育	09
垂水区千代が丘で要援護者避難誘導訓練 / 舞子高校環境防災科で出前授業	
8.ほっとかへんネットたるみの取り組み	10
福祉なんでも相談×ふれあい喫茶 / 「ほっとかねっとたるみ」の全体会で熱い報告!	
9.垂水区社協職員からのメッセージ(職員ブログから)	11
ひきこもり支援に王道なし / 応援しているよ!	
10.垂水区社協の事業紹介	12
エンディングノート / ひきこもりセミナー報告	
赤い羽根共同募金啓発ポスター展を開催しました! / 垂水区夏休み手話教室を開催!	

赤い羽根共同募金啓発ポスター展を開催しました! (2019.11.12)



毎年恒例～たるみ生き活き保健福祉フェア～の開催期間中に赤い羽根共同募金啓発ポスター展の展示を行いました。今年は、小学生・中学生の作品計23点が並び、垂水区役所1階生活支援課前のスペースがとても賑やかになりました。私は今年初めてポスター展の担当になりましたが、少しでも多くの方に作品を見て楽しんでいただけるようにと思うと、作品の高さを微調整したり位置を入れ替えたり、展示のレイアウトに大苦戦しました...しかし、作品を見ていた方からは「みんな上手に描いてて、見てると元気になるね。」というお声もかけていただきました。ご応募いただいた小・中学生の皆さん、赤い羽根共同募金の啓発にご協力いただき、ありがとうございました。来年も見ている方に楽しんでいただけるよう名展示が出来たらと思います。どうぞ、乞うご期待ください。

ひきこもりセミナー報告(2019.11.20)

「ひきこもり支援を通じた地域づくり」を開催しました。

垂水区社会福祉協議会は、11月13日(水)垂水区役所において表題のひきこもり支援セミナーを開催。ご家族・地域の方や支援者など約50名の方が参加くださいました。

講師には、神戸市看護大学の船越 明子教授をお招きし、「ひきこもりの定義」や事例を含めお話いただきました。

参加者からは、ご家族が悩まれていた「自分の育て方が悪かったと思っていた。」「子供の気持ちを少し理解できた。」など少しほぐれた感想や、地域の活動者からは「80-50問題、昔はひきこもりの支援はなかったが、いまは進んでいる。理解してあげたい。」など、関係機関をはじめ地域やご家族の力を合わせて、様々な支援を進めていくことが必要であると感じました。

垂水区社会福祉協議会では、別途継続的に行っている「ひきこもり支援者の情報交換会」などの機会を通じて、支援者としてやっていきたいこと・できること・ご家族や地域の方に協力してほしいこと等を出し合い、将来的には垂水区内のいろいろなところで「居場所」ができるよう進めていきたいと思っております。



垂水区社協の事業紹介

垂水区夏休み手話教室を開催!(2019.8.13)

夏休みの7月26日から8月6日の期間(火曜日と金曜日の全4回)、垂水年金会館3階のボランティアルームで垂水区聴力言語障害者福祉協会主催による垂水区夏休み手話教室が開催されました。

参加者は4才から12才までの幼児から中学生と保護者の約30名で、その中には孫たちと一緒に参加した方もおり、また、ゲストとして聴覚特別支援学校に通う女の子もいました。

最初、4つのグループに分かれて、それぞれ自己紹介の方法を学んだり、夏休みの過ごし方や好きなことなどを手話で表現したり、カードの動物や果物の名前を身振りや手話で伝えるグループ対抗ゲームを通して交流を図りました。

参加者からは、「聴覚に障害のある方とのコミュニケーションをとるための様々な方法を学ぶよい機会になった。」との感想も聞かれました。



エンディングノート(2019.10.2)

また、本会ではオリジナルのエンディングノートを作成、区内在住の方に無料で配布しています。元気なうちの税務相談に来られる前、または相談を受けられた後に、ぜひご活用ください。エンディングノートのデータは、下記リンクへ公開中で、無料でダウンロードできます。



<http://www.tarumi-csw.or.jp/consult/cat/pdf/endingnote191001.pdf>



子どもたちの居場所



垂水区子どもの居場所学習ルーム 「オリーブ」(2020.3.5)

垂水区内で子どもの居場所を開催されているところが少しずつ増えています。

今回は、7月に垂水駅北側ウエステ垂水東館1階にオープンした「学習支援ルーム オリーブ」をご紹介します。

学習に取り組むことができるように机が配置され、明るく落ち着いた雰囲気の部屋で子どもたちは、宿題や勉強をするだけでなく、本を読んだり、絵を描いたり、トランプ等をして遊ぶこともできます。ボランティアの方が学校の宿題を見たり、その他学習指導や話し相手、遊び相手になったりもしていただきます。この日は、小学生が来て、宿題をしていました。「上手に書いてるね～」「計算早くできるね～」等の声かけの中、宿題終了後は、ボランティア4名と一緒にトランプで七並べや神経衰弱を楽しみました。

ここに来た頃は、ボランティアさんとほとんどおしゃべりをしなかったのですが、今では、笑顔で楽しい時間を過ごせるようになっています。家でも学校でもない、子どもの居場所の一つです。ご興味のある方は、親子で覗いてみてください。なお、利用には「利用登録書」の記入が必要です。(記入当日から利用可)

【利用日時】 火・金曜日 16:00～19:00

【問合せ先】 特別養護老人ホーム オービーホーム (担当:田中氏)



神陵台児童館で「楽食の会」を開催(2020.3.16)

月に1度、神陵台児童館にて「楽食(がくしょく)の会」が開催されており、その中で「おにぎりのじかん」という子ども達が思い思いのおにぎりをにぎるイベントがあります。

児童館の来館者が温かい食事をみんなで食べ、少しでも孤食を減らしたいという思いから、児童館と垂水地区青少年育成協議会 神陵台支部が連携して始めました。

「今日のおにぎりは何味?」「のりを巻いて食べたい!」と、自分のお腹と相談しながら、好きな量のご飯を取って自分だけのおにぎりを作ります。

味噌汁の具材も子ども達が準備します。

「野菜がおいしい～」と言いながら楽しく食べていました。

※近隣のお子さんや住民の方も参加できますのでお気軽にお越しください。参加をご希望の際は、事前に神陵台児童館(TEL:781-8737)までお問合せください。

【日 時】 毎月第1土曜日11:30～12:30

【場 所】 神陵台児童館(神戸市垂水区南多間台1-9 C-101)

【参加費】 無料(大人のみ100円)



ニューオープンのつどいの場①



ボランティアグループ「ホープの会」(2019.5.16)

舞多間の住民有志で作ったボランティアグループ「ホープの会」が、6/6(木)10時に「舞多間.comu館」で、多世代の方が交流できる“comuカフェ”をオープンします!(写真はプレオープンの様子)

カフェは、お客さんが自分でコーヒー豆を挽いたり、ほっこりできる空間となっています。



【場所】 垂水区舞多間東3丁目4-6(舞多間.comu館内)
【日程】 毎月第1・3木曜 10時~16時

【メニュー】

- 1. チーズケーキセット 500円
- 2. シフォンケーキセット 500円
- 3. ホットコーヒー 300円(クッキー2枚付)



さわやか元気クラブ桃山台が立ち上がりました!(2019.10.10)

さる10月10日にコープ桃山台の集会室で認知症予防のための体操教室が立ち上がりました。

他の地域でも体操などの居場所づくりに取り組んでおられる矢寺洋子さんを講師に、頭と体を1時間半たっぷり使います。

歌を歌うことから始まり、ソフティボールや特製のお手玉、セラバンドを使い、椅子に座ったままできる体操は意外とハード。手指の運動や二人組でのゲームは脳トレの要素があり、「うまくできない〜」の声が…でも安心してください、その方が脳が活性化するそうです!

体操の合間に休憩があり、飲み物とお菓子が用意されているので、ほっと一息、おしゃべりも弾みました。

地域になじみのあるコープで気軽に運動してもらいたいと、サークルのみなさんは張り切っておられますが、現在は希望者が多く、参加をお待ちいただいている状況です。コープ垂水、コープミニ塩屋でも同じ内容の「さわやか元気クラブ」をしていますので、関心のある方はこちらにもご参加ください。



【場所・日時】 コープ桃山台(桃山台3丁目23-3)・毎月第2木曜日13:30~15:00
コープ垂水(日向1丁目4-1)・毎月第1火曜日10:00~11:30
コープミニ塩屋(塩屋町3丁目9-13)・毎月第3火曜日10:00~11:30

垂水区社協職員からのメッセージ(職員ブログから)

ひきこもり問題の解決に王道なし(2019.6.25)

5月28日、川崎市で通行人やスクールバスを待っていた小学生が刃物で切りつけられた事件、6月1日に元農水省事務次官が長男を刺し殺した事件、いずれの事件も「ひきこもり」がキーワードとなって、マスコミやテレビのワイドショーで何度も取り上げられているのをご覧になったことでしょうか。

国が平成28年9月に全国の15歳以上39歳以下の「ひきこもり」人数の推計を54.1万人と発表し、さらに平成31年3月に40歳以上64歳以下の「ひきこもり」人数の推計を61.3万人と発表しました。これらは国が一定の線を引いて、「ひきこもり」と定義した人数の推計値に過ぎません。実態は、個々のケースを見ると様々な事情があると思われます。

世間を騒がせる大きな事件が起きると、その対策がいろいろ取りざたされていますが、これまで何も対策が取られなかった訳ではありません。平成28年12月神戸市では「ひきこもり地域支援センター」が兵庫区に設置され、当事者や家族等からの様々な相談に応じています。垂水区社協でも昨年、当事者や家族・支援者を対象にした「たるみCafe」を開催し、情報交換などを行いました。インターネットで検索すると、「ひきこもり」の人のための支援活動と称して様々な活動をアピールする団体が掲載されています。しかし、一方で強引なやり方で当事者を引っ張り出し、施設に無理やり収容して強制的に訓練を行う団体もあり、家族の会が実態を調査すると新聞に報道されていました。

個々のケースは様々であり、拙速な解決方法はむしろ事態を悪化させる方向へと導く恐れがあります。あせらず、しかしあきらめず、解決に向けた支援を引き続き行っていくことが、むしろ近道なのではないかと思います。皆さんの周りに悩んでいる関係者がいれば、ぜひその糸口として垂水区社協への相談を呼びかけてください。(本)

応援しているよ!(2019.10.1)

こんにちは!爽やかな風が吹き秋らしくなってきました。生活福祉資金担当のwです。生活福祉資金の中に「教育支援資金」がありますが、進学する子ども自身が学費の貸付を受けています。この教育資金の貸付を申請する理由として、自分や家族が病気だったため医療に携わる仕事に就きたいということや、家業の手伝いをするために一級建築士を目指したいなど十人十色です。

そして、私たちは年に一度その子どもたちとの面談を行っています。アンケートと在学証明書を提出してもらい、進学した学校の様子を聞いたり、将来のことを話してもらっています。1年1年成長している姿に喜びを感じます。

しかし、一方で期日が迫ってきても連絡が取れず、やっと繋がった時には子どもがすでに学校を辞めてしまっていたことを聞くと、何とも言えない気持ちになります。

今年も受験シーズンが到来していますが、私たちに何ができるのか、何をすべきなのかを模索しています。次の面談には、目標に向かって進んでいく子どもたちが増えることを願っています。そして、その子どもたちを応援し続けたいです。

ほっとかへんネットたるみの取り組み



福祉なんでも相談×ふれあい喫茶(2019.4.25)

本多間ふれあいのまちづくり協議会では第1、第3土曜日にふれあい喫茶を開いています。ボリュームたっぷりのモーニングセットが人気で、地域福祉センターの多目的室が参加者でいっぱいになることもしばしば。第3土曜日には、ほっとかへんネットたるみ(垂水区社会福祉法人連絡協議会)が「福祉なんでも相談」でコラボしています。



地域の住民さんと社会福祉の専門職が身近な地域で気軽に会える場として、和やかなおしゃべりの合間にも、日々の暮らしの中での悩みごとや心配ごとの相談にお応えしています。

「ほっとかへんネットたるみ」の全体会で熱い報告!(2019.5.20)

会議の冒頭、岸田代表から「国の検討会において社会福祉法人の経営統合が取りざたされるなか、今後さらに社会福祉法人の連携が大きな意味を持つと思います」とのあいさつのち、名谷地区と本多間地区での活動の振り返り報告がありました。中でも、ふれあい喫茶の参加者からの相談をきっかけに貴金属の買い取り詐欺の被害拡大を防いだ事例な



ど、ほっとかへんネットたるみの発足から4年目を迎えた新たな展開を迎えた事例が紹介されました。今後の展開として、これまでの単年度計画に基づく実践から複数年にわたる中期的な方針策定の方向性が確認されるなど、地域に根付いた社会福祉法人の活躍が今後ますます期待されます。

ニューオープンのつどいの場②



「上高丸すこやか健康クラブ」がオープン(2019.12.26)

12月に、男性を中心とした居場所づくりの一環として「上高丸すこやか健康クラブ」がオープンしました。「健康麻雀」と「ダーツ」に分かれており、好きな方に参加することができます(もちろん両方でもOK!)

初めての方も、ベテランのボランティアさんに1からルールを教えてもらえます。健康麻雀は半分近くの方が初体験!最初は牌をまっすぐ並べる事にも苦労していましたが、だんだんと慣れてくるにしたがって、「次はどれを捨てたらいいかな〜?」と自分なりに工夫しながら、牌を選んでいました。

頭と指先を動かしながら、お話にも花が咲きます。

- 【日時】 (健康麻雀) 毎月第1・2・3日曜日13:00~16:00
(ダーツ) 毎月第2・3・4土曜日13:00~16:00
【場所】 上高丸地域福祉センター
(神戸市垂水区千鳥が丘3丁目20-15)
【会費】 入会金500円、参加250円/回

※参加をご希望の際は、事前に上高丸地域福祉センター(TEL:707-9836)までお問合せください



特別養護老人ホームに「こすもす給食会」がオープン(2020.1.16)

北舞子2丁目に住む閉じこもりがちな高齢者を対象に、地域のボランティアの方々が食事会「こすもす給食会」を立ち上げました。

通常、このような食事会は、地域福祉センターや地域の集会所などで行われることが多いのですが、こすもす給食会は特別養護老人ホームの協力を得て、ホームの地域交流ルームを使って開催します。

高齢者のために集いの場を作りたいというボランティアの思いと地域に貢献したいという社会福祉法人の思いが一致して新規立ち上げに至りました。

初回この日は20名近くの高齢者が参加され、おしゃべりしながら楽しく食事をされました。

- 【日時】 毎月第3木曜日11:30~13:30
【場所】 特別養護老人ホーム 舞子台ホーム
【会費】 350円

※すでに多数の高齢者の参加が予定されており、現時点で新たな参加者を募集していません。お問合せは垂水区社会福祉協議会まで



介護予防、健康づくりの取り組み



健康コミュニティぬくもり倶楽部(2019.7.4)

垂水区の海岸通で地域のボランティアグループ「健康コミュニティぬくもり倶楽部」が、座ってできる簡単エクササイズ的活動を行っています。同グループは、地域の高齢者に外出の機会を増やし、楽しみながら健康づくりへのきっかけを作ってもらおうと3か月に1回程度、鍼灸院の2階スペースを活用して活動を続けています。今回は転倒防止をテーマに「こけない体操」にチャレンジ。体操の後は地域の障がい者作業所「かけはしカフェ」から取り寄せたクッキーと、手作りの生姜ゆず茶でホットひと息。ご近所同士の楽しい話に花が咲いていました。



【場所】 海岸通1-21(温灸サロンぬくもり2階)
【電話】 080-2502-6688
【参加費】 300円茶菓付き
【次回開催日時】 9月19日(木)10時~11時30分
「タオル体操」

※定員10名様程度で、男性の方も参加されています
お気軽にどうぞ!



頭と体のための体操サークル「平磯仲良し倶楽部」(2019.7.11)

頭と体のための体操サークル「平磯仲良し倶楽部」が15周年を迎えました。

代表の矢寺洋子さんを中心に6名のボランティアの皆さんが、地域の高齢者とご自分たちのために続けてこられました。

この日は、45名の高齢者が参加され、軽い体操のあと、銭太鼓グループ「輝星会(きせいかい)」による銭太鼓が披露されました。聞きなれた音楽に合わせての踊りと楽しいトークに会場は盛り上がりました。

普段の仲良し倶楽部は、ソフティボールや特製のお手玉などを使い、椅子に座ったままできる体操をみっちり1時間されています。コグニサイズ(認知症予防運動プログラム)を取り入れた体操は飽きさせない工夫でいっぱいです。

また、初めての方が参加しやすい雰囲気なので、どんどんお友達の輪が広がっているそうです。

【日時】 毎月第1・3土曜日13:30~15:00
【参加費】 200円
※体操のあとはお茶とお菓子でくつろぎます



地域で取り組む防災訓練、防災教育



垂水区千代が丘で要援護者避難誘導訓練(2019.10.31)

千代が丘防災福祉コミュニティでは、毎年この時期に南海トラフ地震や台風、豪雨などの被災に備え、災害発生直後からの安否確認、避難誘導、避難所開設などを想定した訓練を実施しています。

はじめに自宅に残った高齢者を車いすを使って避難誘導する訓練を行い、その後、垂水消防署による講話、緊急通報、バーチャルリアリティを活用した災害体験などを体験しました。

関係者を含め100名を超えた参加者からは、体験や講話を受けて「実際の通報でもうまく伝えられるようにしたい」といった声や、地震の際に自動的に電気ブレーカーを切断する装置や非常食の紹介に対して「どこで売っているの?」などと質問が飛び交い、体験型で印象に残る訓練となっている様子でした。



舞子高校環境防災科で出前授業(2019.12.15)

▲『舞子高校へ』

舞子高校環境防災科で、垂水区社協職員が出前授業を実施しました。

▲『災害ボランティアについて講話』

まずは、災害ボランティアの概要や、活動時に大切にしたいことを伝える講話からスタート。

▲『生徒さんの考えや意見を聞いて』

時々、生徒さんとやり取りしつつ進行しました。

▲『ワークショップを実施』

そして、実際の災害支援について、今までにない視点で考えてみるワークショップの時間もありました。

▲『悩みながらも和やかな雰囲気』

みなさん、難しいテーマを、グループで相談しながら、解決策を考えてくれていました。

以下へ、参加された学生さんからいただいた評価(満足度10点満点中何点だったか)とともに、感想の一部をご紹介します。

Aさん(満足度5点)

3つのカードでどうすれば広報が上手くできるかなど難しいことが考えられるから、楽しく取り組むことができ良かった。カードゲームは、防災教育にも上手く活かせると思うからGood

Bさん(満足度9点)

ワークショップは、奇想天外な案が出ないかとワクワクしたり、実際に物資が十分でないというのを想定されて、3つにしぼっているのかなというのと、この3つ組み合わせられへんっていうのも見方を変えたらつながるということが面白かったです。誰でもしやすいなと思いました。



民生委員児童委員の取り組み



舞子で友愛訪問研修が開かれました(2019.6.26)

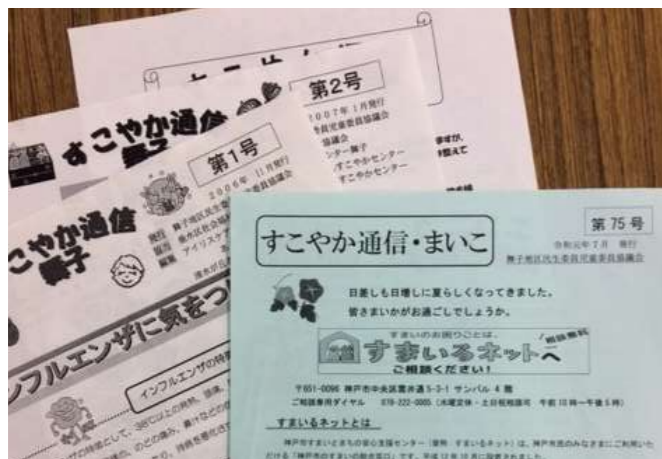
垂水区の舞子地区民生委員児童委員協議会では毎年、地区内の友愛訪問ボランティアと民生委員児童委員による合同の研修会を開催しています。友愛訪問とは、ひとり暮らしの高齢者を対象にボランティアや民生委員が話し相手や安否確認を行う活動。

研修では、認知症の方への対応の仕方や活動報告書の記入方法等のほか、今回は神戸市が進める認知症対策「神戸モデル」の制度概要や無料の認知症検診の受け方についても取り上げられ、総勢で53名の皆さんが熱心に学んでいました。



地区民協作成の情報紙をひとり暮らし高齢者等に配布(2019.10.24)

垂水区の舞子地区民生委員児童委員協議会では、平成18年から毎年数回、地区内のひとり暮らし高齢者の方等を対象に、情報紙「すこやか通信・まいこ」を自ら企画・作成し配布しています。内容は季節の話題から健康、福祉の制度や民生委員児童委員協議会からのお知らせなど様々。担当の委員によると、「内容はもちろん、パッと見て関心を持っていただける紙面にも工夫が必要」



「高齢者から『すこやか通信、待ってたよ』の一言が嬉しい」とのこと。訪問による対面での交流はもちろん大切ですが、このような紙面を通じた情報提供も素晴らしい民生委員・児童委員活動ではないでしょうか。

自治会の工夫ある取り組み



清水が丘東自治会で不用品回収活動(2019.12.8)

12月6日～8日に、清水ヶ丘東自治会が自治会員を対象に、不要になった品物(大型ゴミ)を公園に集め、まとめて業者に処分してもらうという取り組みをされました。老若男女問わず不用品が出せるこの取り組みは今回で3回目、多くの自治会員からの要望を受けて実施されました。日用品から布団やタンスなどの大きなものまで、たくさんの不用品が集められ、まだ使える物を活用するためにフリーマーケットも行われました。



通常、大型ゴミを出すには、大型ゴミ受付センターに申し込み、大型ゴミシール券を購入して貼ったあと、指定の日時に出すことになります。しかし、清水が丘東自治会の活動ではこれらの手続きが不要なうえ、最終日の8日(日)は自治会有志がトラックで町内を回り、自力では不用品を出しにくい方の自宅から運び出すという親切なサポートがあり、特に高齢者や仕事などで忙しい方々に大変喜ばれています。

この活動の発案者の一人である平山さんは「町内のみなさんに喜ばれているし、この不用品回収活動が自治会に加入する動機にもなっているので嬉しい」と話してくださいました。同じように取り組んでみたい地域があれば、ノウハウを伝授して下さるそうです。

「いらぬものを捨てられない」という問題は今やあらゆる世代、あらゆる地域に共通するものです。地域の中で積極的に取り上げていただきたい課題です。



北舞子第4住宅で朝市&チャリティーバザーが開催されました(2019.12.14)

北舞子第4住宅では、自治会主催で毎月第2土曜日に朝市が開催されています。新鮮な野菜と花、おいしい総菜、パンなども販売され、包丁砥ぎのサービスもあり、たくさんの住民でにぎわいます。

住宅の坂本自治会長が他の地域で朝市が行われていることを知り、それを参考にして平成28年12月にスタートさせました。毎回、自治会の役員や有志で準備をすすめ、買い物に苦勞する高齢者や住民同士の交流のために役立っています。

また、12月14日は朝市に加えて、チャリティーバザーも実施し、売り上げを台風19号の被災地へ寄付されました。

坂本自治会長は「住民の役に立つ情報はないかと、いつもアンテナを張っている」と話し、集会所を中心に様々な取り組みを行ってられます。今後もアイデアいっぱいの、息の長い活動を期待しています。



実習生レポート①



ベルデ名谷 子どもの居場所(2019.9.2)

垂水区社協でソーシャルワーク実習をしている大学生の山品です。

8月23日、ベルデ名谷で開催された、「子どもの居場所」(垂水区社協主催)に参加しました。この日は、子どもたちが宿題に取り組んだ後、SDGsを学ぶ神戸商業高校の生徒を中心に、全員でカレーとみたらし団子を作って食べました。この活動は、SDGsの取り組みの一つである「子ども食堂」を高校生が実践する貴重な場でもあります。子どもたちは、「これ何?」と、見たことのない野菜にも興味津々で、「人参切る!」「ジャガイモの皮むく!」と、順番が回ってくるのが待ちきれないくらい、みんな進んで調理のお手伝いをしてくれました。



昼食後は、昔遊びをしました。高校生に教わりながら牛乳パックとストローから竹とんぼを作り、飛ばして遊びました。普段体験することのない遊びを高校生とできて、子どもたちはとても楽しそうでした。

活動に参加させていただき、子どもたちにとっても高校生にとっても、様々な経験ができる良い機会であり、良い居場所であると感じました。

※SDGs(持続可能な開発目標)とは、国連で採択された持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

多聞東地域ボランティア講座を開催しました!(2019.9.2)

垂水区社協でソーシャルワーク実習をしている大学生の木内です。

8月25日に多聞東地域福祉センターで行われた多聞東地区地域福祉ボランティア講座(垂水区社協主催)に参加しました。

高齢者から子どもまで、だれもが気軽に集える場づくりについて考えようという目的のもと、前半はおいしい紅茶の淹れ方レッスン、後半はコミュニティカフェの企画という2部構成で進められました。

市民講師にお越しいただき、おいしい紅茶の淹れ方を学んだあと、紅茶やお菓子を頂きながら地域での居場所づくりについて参加者同士で意見交換が行われました。

参加者は住民だけでなく、あんしんすこやかセンター職員、ふれあいのまちづくり協議会役員とさまざま、それぞれの立場からの居場所づくりに対する意見や考えを知ることができました。

今回参加して、地域の居場所づくりを促進するためには、主体となるボランティアの負担を減らし、ボランティア自身も楽しめる活動とすることが重要であると感じました。



実習生レポート②



塩屋子ども食堂「さくらのいえ」(2019.9.12)

垂水区社協でソーシャルワーク実習をしている大学生の木内です。

特別養護老人ホーム「塩屋さくら苑」にて週一回行われている子ども食堂「さくらのいえ」に参加しました。こちらの子ども食堂では、地域の子供達を地域で見守り、育てることを目指し、地域のボランティアを中心に活動が行われています。場所と食事は塩屋さくら苑が提供しているため、普段はデイサービスをしている広々とした空間を使って、手作りで栄養満点の食事をとることができます。

この日は13人の子ども達に参加していました。食事までの時間は、宿題をしたり、電子ピアノや輪投げ等で遊んだり自由な時間を過ごし、その後、一緒に会話をしながら食事を楽しみました。子ども達はとても明るく元気で、にぎやかな温かい空間でした。

今回参加して、子ども食堂は、みんなで食事を楽しむことができる場所であり、地域の子供達とボランティアの方々が交流できる良い機会であると感じました。また、子ども達が子ども食堂で過ごしている間に、保護者が一息つく時間を提供しているのだと学びました。

【日時・場所】 毎週火曜日17:00~19:00・塩屋さくら苑1階デイルーム

【参加費】 こども100円(主に小学生対象)

※ホームページから事前申し込みが必要

<https://kobechuofukusikai.net/shioyasakuraen/sakuranoie.html>



街づくり団体きゃんぱーす主催「みんなで支えあう街づくり」(2019.9.17)

垂水区社協でソーシャルワーク実習をしている大学生の山品です。

9月7日(土)にあじさいホールで開催された、街づくり団体きゃんぱーす主催の「みんなで支えあう街づくり」に参加しました。

はじめに、垂水区出身の桂三ノ助さんによる落語がありました。面白い落語を聞いて、会場は楽しく明るい雰囲気となりました。

その後、予選を勝ち抜いた、ツクイ神戸多聞台(高齢者施設)、舞子すみれ園(高齢者施設)、兵庫県住宅供給公社、ウェザーコック(美容室)、おかもと訪問看護ステーションの5事業所による、「感動」をテーマにした好事例発表が行われました。この会では、日頃の取り組みの成果を発表し、他事業所の取り組みについて聞くことができます。そのため、今後の活動の参考にすることができました。また、活動に対するやる気にも繋がると思います。

発表を聞いて、どの分野でも、利用者の想いに寄り添った対応をすること、焦らず1つずつ向き合うことが大切であると感じました。利用者の想いに寄り添った対応をされている事業所の方々の発表に、本当に「感動」しました。

